

製本のススメ

Vol. 202

ぐっと春らしくなってきたと思ったら すでに初夏を感じられるこの頃ですね。早くも台風が発生し災害のない年であるようにと祈るばかりです。温暖化が少しでも遅くなっていくように、省エネ リサイクル 心掛けて行きたいものです。

今回は「**これからの印刷**」のお話です

昨今の印刷・印刷関連業界は斜陽と呼ばれる業界になっており、ITにどんどん浸食され安価のネット印刷が横行し 極めて不安要素のみが目立ちます。一時期 紙は邪魔者のように扱われていた感がありましたが、わずかながら印刷の需要も増えてきました。とりわけ少量で希少価値のあるものは人気不衰えなようです。大量に作って 大量に配るという時代に変化が起き SNS 等で人気商品を作り出す戦略は面白いものだと思います。今後の営業戦略に一役買うのではないのでしょうか。

さて紙の本に対する需要はその用途において需要が変わります。例えば参考書やカレンダーのような物は、必要需要がありますが 手帳の需要は減りつつあり予定管理という用途はスマホの時代になってきたと伺えます。商品カタログはターゲットの年齢層により紙としての需要量が変わります。自動車の様に高級品の高価なカタログは、明らかに購入が見込まれる場合に限られるという事ですね。

今やイメージ戦略は動画の時代になりました。雑誌週刊誌のような読み流すものはネット記事で十分で 月刊誌等は付録の良さで売られています。「安い」「早い」「うまい」に馴染んでしまった世代には『高い』『やや遅い』『超うまい!』は なかなか受け入れられません しかしダイレクトメールは若い世代に受けが良いらしく、自分あての郵便が届く事が嬉しいというレポートがありました。紙媒体もディズニーランドのキャストのように、動画さながらの夢と希望をアピールできる戦略が必要ですね。



Tea break

今時 Facebook の利用者は40代以上だそうです。若者はInstagram リール動画・ストーリー・ticktack など視覚に訴える物が主流で SNS の世界も どんどんと変化する手法を取り入れていかねばなりません。先日 遅れを取るまいと ticktack にチャレンジしましたが、元ネタが少なくて愉快的動画になりませんでした「映える写真」の大切さを実感しています。

弊社 HP は <http://www.isekiseihon.com>

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本